

各都道府県協会・連盟、部会 会長・事務局長各位

第 R3 回日ク発第 328 号  
2022 年 3 月 10 日  
(一社)日本クレー射撃協会  
競技委員長 渡辺 久雄  
審査委員長 柏木 孝則  
(※ 公 印 省 略)

### 公式大会における ISSF 新ルール適用について

日頃はクレー射撃の普及・振興、競技力の向上にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

東京オリンピック以降、ISSF の主要大会では新ルール（特にファイナル戦の形式変更）による試行が開始されており、ISSF の WEB 等で紹介がされておりますが、現在 IF 運営側と選手会側とで正式導入に向けて最終調整をしている段階であります。

従い、IF から NF に向けた新ルール内容（ISSF 射撃競技諸規定集）の確定版が未発行状態であり、現状正式に当協会から会員皆様へご紹介するに至っておりません。

現在当協会では、これまでの IF 側情報をもとにルールブック（2017 年版）の改版に着手し始めておりますが、新ルール内容（ISSF 射撃競技諸規定集）の確定版（2022 年版）製本に至るまでは暫く時間を要することが見込まれます。

また、競技会場となる各射撃場のコントローラー等、ハード面の環境が整うかも課題となります。

就いては、上記事項に伴い、2022 年度の本部公式大会における新ルールの適用については「大会実施要項」発行時における諸状況を鑑み、旧ルール（6 名によるファイナル戦）か新ルール（8 名によるセミ+ファイナル戦）のどちらを採用するか「大会実施要項」に明記させていただきます、運用いたしますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

#### （参考）新ルールのファイナル戦

ファイナルステージは、セミファイナル（4 名ずつの射団となる、セミファイナル 1 とセミファイナル 2 に分ける）及びメダルマッチ（4 名の選手）から構成される。

以上